



ゆかりびと

第 22 回

(株)和洋園 代表取締役社長

和氣 佳洋

さん

浅川 祐太郎

さん



伝統を未来へ。 盆栽に懸ける若き2人の挑戦

「思いがけず盆栽のおもしろさに引き込まれた」そう話すのは祖父の代から続く和洋園を継ぐ和氣さんです。社会での経験を積み、家業に携わり始めたのは6年前のこと。剪定の繊細な作業が肌に合い、3年後には社長に就任しました。「たくさんの人に盆栽を身近に感じてほしい」とそんな思いから、これまで盆栽用素材の生産に力を入れてきた和洋園で、本格的に盆栽を仕立て、流通させる仕組みを模索し始めました。

そして昨年10月の日本盆栽作風展で東京都知事賞、今年2月の皐樹展では大賞を受賞するなど、名誉ある賞を次々と受賞し、近年では、若き実力派盆栽作家として多方面で評価を受けるようになりました。「祖父・父が長い年月をかけて育んだ素材があつてこそその受賞。自分は仕上げをしただけ」と謙遜する和氣さん。とはいえ、「親子3代で継承してきた技術が評価されたことはうれしい」と笑顔を見せます。また5月には、「EXPO2025日本盆栽・水石展」の出品作品に選ばれ、大阪・関西万博に参加するなど、盆栽の魅力発信にも力を入れています。

そんな和氣さんの元で4月から従業員として働き始めたのは、高校時代からの親友の浅川さんです。和氣さんをきっかけに盆栽に出会った浅川さんは、3年前に県外から移住し、仕事の合間に盆栽の勉強をするなど、和氣さんが修行を積み傍らで準備を整えてきました。「いずれ2人で起業しよう」10年前に交わした約束がカタチとなり、2人の夢はいよいよ動き出しました。祖父の代から続く技術と、若き2人の情熱が重なり、盆栽業界の未来に新しい風を吹き込みます。

Editor's Note 編集後記

▷カフェ虹の花のかき氷シロップは16種類。私が選んだのは、紅茶&ライチのハーフ&ハーフ。紅茶はミルクがかかってミルクティの味わいに!ライチと混ぜり合ったハーモニーが絶品すぎました。とにかく「紅茶&くだもの」が私の推しです。(DYC)

▷私も毎回楽しみにしているヤイトゴハン。今月号のレシピはレンジだけで調理ができて、夏野菜がおいしく食べられます。暑くて何もしたくない夜の味方!いつも簡単なのにおいしいレシピの紹介、ありがとうございます。(あ)